

“パネル展を大野市と協働開催”

—『東日本大震災から4年(国土交通省の取り組み)』及び『伊勢湾台風、奥越豪雨の被災状況』—

このたび大野市役所(1F市民ホール)において、大野市と九頭竜川ダム統合管理事務所の協働によりパネル展[平成27年2月28(土)から3月15日(日)までを前半として、東日本大震災から4年国土交通省の取り組みと題し、また3月16日(月)から3月24日(火)までを後半として、伊勢湾台風(昭和34年9月)、奥越豪雨(昭和40年9月)の被災状況等について]を開催しました。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は多くの被害をもたらしましたが、地域の防災力の向上と被災地への思いを風化させないようにするためには、地域・世代間を超えて今回の教訓を活かしていくことが必要と考えます。大震災と戦った日々を風化させないための取り組みとして、国土交通省の取り組みやテックフォースの活動状況を交えたパネルを展示しました。

またパネル展後半には伊勢湾台風や奥越豪雨において、大野市域で甚大な被害があった状況を知っていただくために被災状況パネルを展示しました。

さらに大野市においては、市域の浸水想定区域図を展示して市民への啓発を行いました。

開催期間:平成27年2月28日(土)～3月24日(火)、開催場所:大野市役所(1F市民ホール)

展示パネル見学の様子



【問い合わせ先】



国土交通省 近畿地方整備局

九頭竜川ダム統合管理事務所 管理課

〒912-0021 大野市中野29-28 TEL 0779-66-5300(代)